

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成23年1月20日（木）

【協議事項】

1 平成22年度第6回交通規制実施計画(案)について

(交通部)

警察本部から「平成22年度第6回交通規制実施計画(案)については、交通の安全と円滑及び快適な道路交通環境の整備のため、住民の要望等を踏まえ、区間規制330区間、地点規制312箇所の交通規制を計画している。主な交通規制としては、九州自動車道宮田スマートインターの整備に伴う最高速度等の規制、国道202号福岡外環状道路の整備に伴う駐車禁止、一方通行等であり、事業費は約5,500万円である。ご審議願いたい。」旨の説明があった。

公安委員から「了承した。所定の手続きを進められたい。」旨の発言があった。

【報告事項】

1 福岡県警察音楽隊第46回定期演奏会の開催について

(総務部)

警察本部から「福岡県警察音楽隊第46回定期演奏会については、平成23年2月5日、福岡市中央区のアクロス福岡シンフォニーホールにおいて開催する。定期演奏会は毎年1回開催しており、本年は大分県警音楽隊との合同演奏会とした。また、昨年から祝日または土曜日の午後の開演としており、大変好評を得ている。公安委員にも来賓として出席をお願いしたい。」旨の報告があった。

公安委員から「定期演奏会については、大変人気が高いと聞いたが。」旨の発言があり、警察本部から「入場整理券の公募による抽選をしたところ約2倍の競争率であった。」旨の説明があった。

2 平成22年の犯罪情勢について

(生活安全部・刑事部)

警察本部から「平成22年の犯罪情勢については、刑法犯認知件数は、78,813件で8年連続して減少し、平成14年のピーク時と比べて半減した。検挙率は、35パーセントで前年に比べ0.1ポイント増加した。重要犯罪の認知件数については、877件で前年に比べ16.0パーセント増加し、特にコンビニ強盗の認知件数が、52件と平成16年以降最多であり、強制わいせつが471件で平成に入り最多であった。重要窃盗犯については22.4パーセント減少し、住宅対象の侵入盗(空き巣、忍込み、居空き)の減少件数は全国1位である。」旨の報告があった。

公安委員から「住宅対象の侵入盗での空き巣、忍込み、居空きとはどのようなものか。」旨の質問があり、警察本部から「空き巣とは、家人が不在の家に侵入しての窃盗で、忍込みは夜間に家に侵入しての窃盗、居空きとは家人が在宅しているのに侵入して窃盗するものである。」旨の説明があった。

公安委員から「コンビニ強盗、強制わいせつについては増加しているが、全国的な傾向か。」旨の質問があり、警察本部から「コンビニ強盗については、全国

的にはマイナス19.4パーセントであり、本県が増加している。強制わいせつについては、全国的にもプラス340件の増加となっている。」旨の説明があった。

3 株式会社夢大陸による詐欺事件の検挙について

(生活安全部)

警察本部から「平成23年1月15日、生活経済課と博多臨港警察署等6警察署が、福岡市中央区内の株式会社夢大陸代表取締役女性ほか3人を詐欺事件の被疑者として逮捕した。被害者は福岡県を中心に全国に及び約400人を超え、被害総額は約67億円である。」旨の報告があった。

4 平成22年の110番受理状況について

(地域部)

警察本部から「平成22年の110番受理状況については、総受理件数581,075件で前年比プラス957件、1日平均1,592件で前年比プラス4件である。そのうち警察措置を要した件数は1日平均1,226件で前年比マイナス29件である。過去10年間で見ると、平成16年をピークに年々減少している。受理頻度は54.3秒に1件であり、携帯電話の通報が全体の約7割をしめている。地区別では、福岡地区が52パーセント、北九州地区が26パーセントであり、署別での上位は、博多、筑紫野、中央、早良、小倉北の順となっている。事案別では、交通事故等の交通関係が31パーセントと多く、窃盗犯等の刑事関係が8パーセント、もめごとなどの生活安全関係が8パーセントである。緊急配備実施状況については、実施件数及び検挙件数とも増加している。」旨の報告があった。

5 無差別殺傷事件初動対応訓練の実施について

(地域部・刑事部・情報通信部)

警察本部から「平成23年1月20日午後4時から、交通機動隊隊庭等において無差別殺傷事件初動対応訓練を実施する。この訓練は、公共交通機関、繁華街、大型商業施設等における刃物を使用した無差別殺傷事件の発生を想定した初動警察活動の訓練であり、訓練体制については、本部、警察署等約110人、車両約20台、ヘリ1機としている。」旨の報告があった。

公安委員から「この訓練については、初めて実施するのか。」旨の質問があり、警察本部から「緊急配備訓練は実施していたが、無差別殺傷事件を想定した訓練は初めてである。」旨の説明があった。

公安委員から「刃物を使用した無差別殺傷事件を想定した訓練であれば、消防や病院等の他機関との連携が必要と思うが、訓練には関係他機関は参加していないのか。」旨の質問があり、警察本部から「茨城県でのバス乗客による殺傷事件の発生により、警察庁から全国警察に対し、1月中に初動対応訓練を実施するよう指示されたものであり、今後は他機関との合同による訓練を検討する。」旨の説明があった。

6 九州誠道会が建立した忠魂碑の撤去について

(暴力団対策部)

警察本部から「九州誠道会が福岡県大牟田市内の公園墓地内に建立した忠魂碑については、平成23年1月15日撤去されているのが確認された。平成21年

7月、九州誠道会が道仁会との抗争等による死者を弔うという名目で建立し、暴力団関係者を多数集め法要等を行っていたことから、市民、公園利用者から撤去要望があっていたもので、撤去に向け、違法行為を行っていた関係者を詐欺罪等で逮捕・立件し、その後、県自然環境課と連携して、県立自然公園条例に基づき撤去を求めているものである。」旨の報告があった。

公安委員から「忠魂碑が県立自然公園条例に抵触するということがよく判明したと思う。」旨の発言があり、警察本部から「大牟田市や福岡県と連携を密にし、同所が自然公園区域に指定されている事が特定でき、県立自然公園条例に基づき撤去を求めているものである。」旨の説明があった。

7 自転車による交通違反の略式命令について

(交通部)

警察本部から「平成22年9月、福岡市中央区内において制動装置不良自転車を運転したとして検挙された者に対し、検察庁は不起訴処分としたが、同人は平成22年11月、福岡市南区内において、再度、制動装置不良自転車を運転したとして検挙され、平成23年1月12日、同違反により、罰金の略式命令を受けた。」旨の報告があった。

公安委員から「新聞でも大きく報道されたものであり、今後の自転車のマナー違反対策としては効果が大きいと思う。また、本件の略式命令については前科となるのか。」旨の質問があり、警察本部から「本件については前科となる。」旨の説明があった。

公安委員から「ブレーキのない自転車に乗ることは大変危険であり、起訴されて当然である。」旨の発言があった。

【議題外】

1 万引防止県民大会の開催について

(生活安全部)

警察本部から「平成23年1月23日、福岡県万引防止連絡協議会が福岡市博多区内において万引防止県民大会を開催する。来賓として、公安委員の出席を予定しているので、よろしく願います。」旨の報告があった。

公安委員から「了承した。」旨の発言があった。